

## 越境 EC 事業を展開するインアゴラ 中国最大級のコーヒーチェーンであるラッキンコーヒーと協業 ～ カルビーのシリアル食品「フルグラ®」の取り扱いをサポート ～

「ショッピングに国境はない」をスローガンに、中国向け日本商品特化型越境 EC プラットフォーム「豌豆（ワンドウ）プラットフォーム」を運営するインアゴラ株式会社（代表取締役 CEO：翁 永飏 所在地：東京都港区 以下「インアゴラ」）は、今後、中国コーヒーチェーンの瑞幸珈琲（CEO：銭治亜 所在地：中国福建省アモイ市 以下「ラッキンコーヒー」）に対し、カルビー株式会社（代表取締役社長 兼 CEO：伊藤 秀二 所在地：東京都千代田区 以下「カルビー」）が販売する京都産のシリアル食品「フルグラ®」の取り扱いをサポートします。本提携は、ラッキンコーヒーが2020年1月8日（水）に北京国家会議センターで行った戦略発表会内で発表されました。



ラッキンコーヒーは、リアル店舗とテクノロジーを融合し、専用のアプリを通じて注文から決済まで迅速に行うシステムや店舗以外の場所への配送など中国人ユーザーのニーズに即したサービスで人気を博し、2019年11月に発表された第3四半期決算では、店舗数が前年同期比約3倍の3,680店舗、累計ユーザー数が前年同期比約5倍の約3,070万人と急成長を遂げている中国のコーヒーチェーンです。

戦略発表会では、更なる顧客獲得およびサービスの向上を目的に、無人コーヒー販売機の「瑞即購」（Luckin Coffee EXPRESS）および「フルグラ®」などの菓子類およびジュース類などを販売する自動販売機の「瑞划算」（Luckin POP MINI）を新たに展開することを公表しました。

カルビーの「フルグラ®」は、以前から中国のお客様に人気が高く、インアゴラが展開する越境 EC アプリ「豌豆公主（ワンドウ）」においても2017年10月より取り扱っています。このたび、インアゴラは、中国のお客様の昨今の健康ニーズと、「フルグラ®」の美味しさ・手軽さ、ラッキンコーヒーのビジネスモデルに親和性があると捉え、ラッキンコーヒーにおける「フルグラ®」の仕入れを担うことに至りました。

中国最大規模のコーヒーチェーンで「フルグラ®」を販売することにより、ラッキンコーヒーの顧客満足度や「フルグラ®」の市場認知度の向上、中国のお客様の健康的で便利な食生活をサポートします。

インアゴラは今後も、より多くの日本商品を中国のお客様に紹介し、日本の商品とライフスタイルを楽しんでいただく場をお届けします。

# Inagora

## ■ラッキンコーヒー 概要

本社所在地 : 福建省厦门市思明区塔埔东路 169 号 2 层 201 单元 L 室  
設立者兼 CEO : 銭治亜  
会社設立 : 2017 年 11 月  
URL : <https://www.luckincoffee.com/>

## ■カルビー株式会社 概要

本社所在地 : 東京都千代田区丸の内 1-8-3 丸の内トラストタワー本館 22 階  
代表取締役社長兼 CEO : 伊藤 秀二  
会社設立 : 1949 年 4 月 30 日  
URL : <http://www.calbee.co.jp/>

## ■Inagora 株式会社 概要

本社所在地 : 東京都港区赤坂 4-15-1 赤坂ガーデンシティ 16F  
代表取締役 CEO : 翁永颯  
会社設立 : 2014 年 12 月 15 日  
URL : <https://inagora.com>

インアゴラ株式会社は、キングソフト株式会社社長 翁永颯（当時）と、美容家であり MNC New York 株式会社 代表 山本未奈子により、2014年12月に設立されました。「ショッピングに国境はない」という考えのもと、中国向け越境 EC プラットフォーム「豌豆（ワンドウ）プラットフォーム」を構築・運営し、ブランドストーリーやユーザーの口コミ、商品の使い方やライフスタイル提案等の「情報の越境」に注力し、中国消費者に良質な日本製商品を提供し続けています。

## ■中国消費者向け越境 ECプラットフォーム「豌豆（ワンドウ）プラットフォーム」概要

日本の企業と中国消費者を結ぶため、日本企業が海外進出を検討する際に必ず課題となる「情報の越境」「物流の越境」「決済の越境」のすべてを解決する、ワンストップソリューション型の B to B to C 越境 EC プラットフォームです。日本企業と中国消費者間の文化的ギャップを吸収するため、中国ユーザー向けに商品の翻訳、物流、決済、マーケティング、顧客対応、他(多)チャンネル展開などの全工程をインアゴラが担います。日本の企業はインアゴラの日本国内倉庫に商品を配送するだけで、国内 EC ショップを 1 店舗追加するよりも簡単に、巨大な中国市場に進出することができます。



## ■越境 EC アプリ「豌豆公主（ワンドウ）」概要

中国消費者向け日本商品特化型越境 EC ショッピングアプリとして2015年8月のリリース以来、流通総額を急速に伸ばしています。取り扱い商品数は、中国で既に人気のアイテムから中国ユーザーの認知度が低い商品まで約40,000商品(2017年11月時点)で、多岐にわたるカテゴリーの商品を取り揃えています。中国消費者に日本商品や企業ブランドの魅力を伝え、日本のライフスタイルを提案する多角的なコンテンツ(PGC<sup>\*1</sup>)やアプリ内の SNS 機能(UGC<sup>\*2</sup>=プリンセストーク)を通じて拡散できる点が特徴です。

※1：編集部によるトピックス=企業 HP やブランド紹介ページ、編集部制作の記事・動画コンテンツ等

※2：ユーザーによるコメント=ユーザー口コミ情報、サンプリング結果等